

## 第 70 回新技術活用等現場研修会

1. 日 時 令和元年 11 月 7 日(火) 9 時～17 時
2. 研修内容

[山陰道]「三隅・益田道路」(浜田河川国道事務所)

- ① 三隅・益田道路鎌手地区改良工事
- ② 三隅・益田道路遠田地区改良第 2 工事
- ③ 三隅・益田道路岡見 IC 改良第 5 工事
- ④ 三隅・益田道路岡見地区改良第 3 工事

鳥取県から山口県に至る約 380km の山陰自動車道の内、島根県西部では、江津 IC (江津道路は NEXCO 西日本が管理) から石見三隅 IC までと、益田市内の一部が既に開通しています。

現在は、「三隅・益田道路」(石見三隅 IC から遠田 IC) の工事が進められていますが、この間の一般国道 9 号 (浜田市三隅町森溝上～益田市遠田町) は、急勾配でカーブが連続しており、主要幹線道路として安全安心な通行の確保や緊急時の代替ルートの確保が課題となっています。また、島根県の東西間、隣接県、山陽・四国との移動時間の短縮や、空港、港湾へのアクセスの強化を図ることにより、地域間の連携強化及び交流の推進を目的として道路整備が進められています。

今回は、令和 7 年度 (2025 年度) の開通を目指して多くの工事が進められている「三隅・益田道路」において、特に新技術の活用について、実地による研修を行いました。以下にその状況を報告します。



実地研修では、各工事共に ICT 土工の取り組みが行われており、取り組み内容の説明及び工事の進捗状況について、工事担当技術者から詳しく説明が行なわれました。

具体的には、UAV 及びレーザースキャナ等による測量や 3 次元データによる設計、ICT 建機による施工、また UAV を活用した施工進捗の把握などについて、各工事の積極的な取組の内容、特徴的な工夫などデモンストレーションを含めて解説があり有意義な研修となりました。

ICT 技術の導入により、現場管理・作業の効率化や品質・安全性の向上、工程短縮などの効果の一方、工事着手時の現場状況や通信環境の課題も上がっていました。工事工程促進が求められ多忙な中、本研修の実施にあたり、快く受け入れて頂き、また現地では丁寧な説明をして頂いた工事関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。